

1月4日から  
ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん  
ワクチン接種費用の全額を助成

市では、乳幼児に重い後遺症を残すといわれている「細菌性髄膜炎」を予防する「インフルエンザ菌b型ワクチン」、「小児用肺炎球菌ワクチン」、および「子宮頸がんを予防する「子宮頸がんワクチン」の接種の費用を1月4日から全額助成します。

特に、子宮頸がんの予防は、ワクチン接種と検診が大切で、ワクチンにより約70%が予防できるといわれています。詳しくは、下記の説明をご覧ください。助成の対象年齢等は次の表のとおりです。

▼費用助成の対象年齢と回数等

ワクチン名	接種開始の年齢	回数	接種間隔
ヒブ (インフルエンザ菌b型) ワクチン	生後2か月以上～7か月未満	4回	1回から3回までは4週から8週間の間をあげ3回目の1年後に追加1回
	生後7か月以上～1歳未満	3回	1回から2回までは4週から8週間の間をあげ2回目の1年後に追加1回
	満1歳以上～5歳未満	1回	—
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月以上～7か月未満	4回	1回から3回までは27日間以上あけ、3回目終了後60日間以上あけて1歳～1歳3か月の間に追加1回
	7か月以上～1歳未満	3回	1回から2回までは27日間以上あけ、2回目終了後60日間以上あけて1歳以降に追加1回
	満1歳以上～2歳未満	2回	60日間以上の間隔をあけて2回接種
	満2歳以上～5歳未満	1回	—
子宮頸がんワクチン(HPV)	中学1年生(13歳相当)～高校1年生(16歳相当)の女子	3回	初回の注射から、1か月後に2回目、2回目から5か月後に3回目を接種

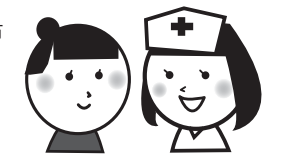
\*これらのワクチン接種は、希望される方のみ接種する任意接種となります。健康被害の対応は「医薬品副作用被害救済制度」および「全国町村会総合賠償保険」に基づく救済の対象となります。

▼実施医療機関一覧表

所在地	医療機関名	ワクチン名			予約電話
		子宮頸がん	ヒブ(Hib)	小児用肺炎球菌	
マキノ	マキノ駅前診療所	○			(28)8088
	マキノ病院	○	○	○	(27)0099
今津	今津病院	○			(22)2238
	安井医院	○			(22)2030
	あいりんクリニック	○	○	○	(22)1711
	おかだ小児科医院	○	○	○	(22)8071
	前川クリニック	○			(22)2881
朽木	けいこピュアクリニック	○	○	○	(24)7000
	朽木診療所	○	○	○	(38)2071
安曇川	土田医院	○	○	○	(32)3317
	浮田医院	○	○	○	(32)3751
	澤村医院	○			(32)3525
	東医院	○			(32)1331
	氷室内科医院	○			(32)2112
高島	多胡クリニック	○	○	○	(34)0345
	公立高島総合病院	○	○	○	(36)2299 (12時30分～16時) (36)0220 (10時～11時30分)
新旭	本多医院	○			(25)4123
	澤村クリニック	○			(25)5082
	片岡クリニック	○	○	○	(25)6373
	小林クリニック	○			(25)8107

※医療機関の都合により内容が変更されることがあります。

○事前の手続きはありませんので、接種を希望される方は、直接医療機関へお申込み・ご予約ください。  
○母子健康手帳をお持ちください。



あなたを守る！  
子宮頸がん検診

子宮頸がん検診を受けて、子宮頸がんの早期発見・早期治療につなげましょう。

●子宮頸がんって？  
子宮頸がんとは、子宮の入り口付近、「子宮頸部」にできるがんを言います。

●何歳の方に多いの？  
30歳代から40歳代で多く診断されており、近年では20歳代後半から増加しています。

●どんな人がなりやすいの？  
子宮頸がんの発生には、その多くにヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関係していると言われています。HPVは、性交渉により感染することが知られ、妊娠・出産回数が多い方ほどなりやすいといわれています。また、喫煙者もリスクが高くなります。

●予防方法は？  
子宮頸がん検診が非常に有効で、進行がんを防ぎ死亡を減らす効果が証明されています。また、子宮頸がんワクチンの接種が有効といわれています。

健康推進課 ☎(25)8087

年はじめ

災害備え 総チェック

一年の始まりであり、「阪神・淡路大震災」が起こった月でもある1月。この月にあわせて、災害の備えについて家族で話し合い点検しましょう。

「1月の災害」で忘れられないのは、平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」です。今年で16年目を迎えます。

高島市には、東側に琵琶湖西岸断層帯、西側に花折断層帯が走っていて、マグニチュード7を超える地震が予測されています。特に、琵琶湖西岸断層帯北部における今後30年以内の地震発生率は、1%から3%とされており、日本の主な活断層の中では高いグループに属しています。

そこで、年の初めにあたり、災害が起きないことを願いつつも災害に備えるために、家族で身の回りの点検をしてみたいかがでしょうか。

これらの他にも、家族で話し合って災害に備えてください。

図総合防災課 ☎(25)8133

- お家の防災行政無線は聞こえていますか？  
(電池は時々交換してください)
- タンスなどの倒れやすい家具の固定はされていますか？
- 棚の上に重いものを置いていませんか？
- 避難所の位置や避難経路は確認していますか？
- 非常持出品の準備はできていますか？  
(貴重品の保管場所の確認、携帯ラジオ・懐中電灯の電池、非常用食料・水・医薬品の消費期限など)
- 電気のブレーカーの位置は知っていますか？  
(避難するときはブレーカーは切ってください)
- 消火器の有効期限や取り扱い要領は大丈夫ですか？
- 応急手当の要領は知っていますか？
- 家族の安全確認に利用できる災害用伝言サービスを知っていますか？



11月の火災・救急・救助 件数

( )内は年累計

▼火災  
建物火災/2(11) 車両火災/0(3)  
林野火災/0(0) その他火災/0(7)

▼救急  
交通事故/18(198) 一般負傷/34(316)  
急病/108(1306) その他/28(299)

▼救助  
火災/2(12) 交通事故/1(20)  
水難事故/1(2) その他/1(16)

(注)【救急】 その他=火災+労働災害+運動競技+加害+自損行為+転院搬送等  
(注)【救助】 その他=自然災害+機械事故+建物事故+ガス事故+爆発等

消防総務課 ☎(22)1234

高島市内の交通事故発生状況 (平成22年11月末現在)

●発生状況 (累計)

	今年	昨年	増減
人身事故発生件数	214件	191件	23件
死者数	3人	0人	3人
傷者数	290人	257人	33人

発生場所	件数
マキノ	28
今津	54
朽木	4
安曇川	57
高島	32
新旭	39

●交通事故の特徴

事故の形態

追突 45件(21.0%)  
出合頭 87件(40.7%)

高齢者(65歳以上)の事故 66件(30.8%)

